



# 東京都立 水元公園 内溜地区

- ・基本設計 平成11年度
- ・実施設計 平成16年度
- ・開園 平成17年4月
- ・面積:2245㎡
- ・事業主:東京都 東部公園事務所

もともとは2宅地であった敷地を一体化し水元公園の飛び地として整備を行った。  
水元公園本体とは違い地元との協議を行い、地域イベント利用が主体の小広場とした。



対岸からみた公園。ケヤキ、スダジイ等の大きな既存木はできるかぎりそのままの位置で残し、小さなものは移植、新植樹木は無し。



小鮎水路の対岸からみた内溜地区。



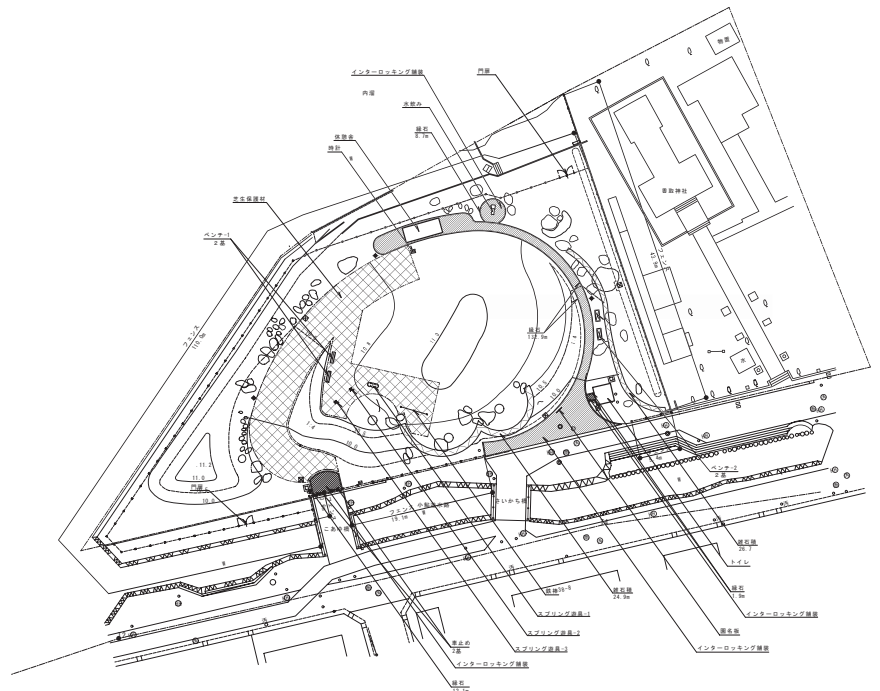
整備前の様子。



大きなヤマモモの木の下、遊具で遊ぶ子供たち。



小鮎水路に架かる橋が入口のゲートがわりになっている。  
橋の奥が今回整備した公園。



入口広場周辺。右側がトイレ。舗装は最低限の面積に留め、動線となる部分は芝生保護材で対応した。



地域のイベントで利用しやすいように広場をできるかぎり大きくとり、開放的なつくりとした。  
既存の庭園にあった石組みの景石もすべて敷地内で石積や景石として再利用した。



● 位置 (葛飾区東水元二丁目地内)